

第36回BPJA理事会

日時	2016年5月25日（木）	
	理事会	16:30 ～ 18:00
	懇親会	18:00 ～ 19:30
場所	株式会社三技協	
議題	1. 理事会成立の確認	椎木事務局長
	2. 会長挨拶	倉重会長
	3. 今年度の活動報告	
	1) 会員の現況	事務局
	2) 例会	仙石副会長／田村理事
	3) 交流会	伊藤常務理事
	4) 講演会	坂田理事／大島理事
	5) 研究会	桐山常務理事／各ナビゲータ
	4. 中間会計報告	事務局
	5. 委員会活動報告	石田広報委員
	6. 今後の活動予定	事務局
	7. 閉会挨拶	仙石副会長
資料	・出席者リスト（P. 1）	
	・会員一覧（P. 2-）	
	・例会活動報告（P. 5-）	
	・交流会活動報告（P. 7-）	
	・講演会活動報告（P. 9-）	
	・研究会活動報告（P. 10-）	
	・BPJA2016年度中間会計（P. 17）	
	・委員会活動報告（P. 18）	
	・第4回BPJA新緑セミナー 実施概要（P. 19-）	

第36回 BPIA理事会(2016年5月25日)出席者名簿

※理事メンバー以下、氏名50音順

	担当	氏名	社名・部署・役職
1	会長	倉重 英樹	株式会社シグマクス 代表取締役会長 兼 社長
2	副会長	例会担当 仙石 通泰	株式会社三技協 代表取締役会長
3	常務理事	事務局長/企画委員 椎木 茂	日本オラクル株式会社 副社長執行役員
4	常務理事	交流会担当 伊藤 孝	株式会社セールスフォース・ドットコム 常務執行役員
5	常務理事	研究会担当 桐山 太一	株式会社アーク情報システム 取締役
6	常務理事	会員委員 内田 士郎	SAPジャパン株式会社 代表取締役会長
7	理事	企画委員/広報委員 石田 麻琴	株式会社ECマーケティング人財育成 代表取締役社長
8	理事	江戸 栄一	リコ-ITソリューションズ株式会社 ITソリューション事業部 ITサポートセンター 副センター長
9	理事	研究会座長 岡田 正志	B&Tコンサル・オフィス・オカダ 代表
10	理事	梅木 哲也	株式会社チップワンストップ 経営管理部 取締役
11	理事	坂田 明	明豊ファシリティワークス株式会社 代表取締役社長
12	理事	下條 治	日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社 代表取締役社長
13	理事	例会担当 田村 俊和	株式会社日経BPマーケティング/日経BP社 マーケティング統括本部長 取締役
14	理事	橋本 航也	O&H株式会社 代表取締役社長
15	理事	交流会担当 森川 勇治	株式会社ウェブアイ 代表取締役社長
16	理事	森本 俊彦	株式会社イトーキ 企画本部 業務管理統括部 BPR推進部 プロジェクト推進室長
17	理事	研究会座長 渡邊 信光	Initiative&Solutions, Inc 代表取締役
18	理事代理	ナビゲータ 井ノ上 美和	株式会社パシフィックネット 「ジョーシス」編集部 顧問
19		ナビゲータ 合田 友昭	日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社 IT事業部 IT Improvement室 室長
20	理事補佐	宇木 健二	アライアンス事業統括 パートナー営業部 担当ディレクター
21	理事代理	大江 正巳	株式会社パシフィックネット 取締役 経営企画室長
22	理事代理	山内 道晴	東洋アルミニウム株式会社 人事部
23	理事代理	由利 洋高	エム・アイ・アール株式会社 BPM/ERP事業部 取締役
24		事務局 飯塚 順子	
25		事務局 川上 沙耶	

ビジネスプラットフォーム革新協議会（BPIA）会員一覧 *2016/5/25現在

※法人会員 社名50音順、個人会員 氏名50音順

			会員名
	1	法人	株式会社アーク情報システム
	2	法人	株式会社R. D. Works
	3	法人	株式会社アバント
	4	法人	株式会社イトーキ
	5	法人	株式会社ウェブアイ
	6	法人	SAPジャパン株式会社
	7	法人	NECネッツエスアイ株式会社
	8	法人	NECソリューションイノベータ株式会社
新	9	法人	エム・アイ・アール株式会社
新	10	法人	O&H株式会社
	11	法人	株式会社三技協
	12	法人	株式会社シグマクシス
	13	法人	株式会社セールスフォース・ドットコム
	14	法人	株式会社ソフタス
	15	法人	株式会社チップワンストップ
	16	法人	株式会社ディー・サイン
	17	法人	東洋アルミニウム株式会社
	18	法人	中川特殊鋼株式会社
	19	法人	株式会社日経BPマーケティング
	20	法人	日本オラクル株式会社
	21	法人	日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社
	22	法人	日本タタ・コンサルタンシー・サービス株式会社
	23	法人	日本ヒューレット・パッカード株式会社
	24	法人	株式会社パシフィックネット
	25	法人	明豊ファシリティワークス株式会社
	26	法人	株式会社ヤマティー
	27	法人	リコーITソリューションズ株式会社
	28	1	公益財団法人 日本英語検定協会

	29	1	個人	株式会社エルフェリシア	飯塚 順子
	30	2	個人	株式会社ECマーケティング人財育成	石田 麻琴
	31	3	個人	株式会社F&S Creations	井ノ上 美和
	32	4	個人	有限会社ワイ・エス・マネジメント	岩佐 豊
	33	5	個人	ロジザード株式会社	遠藤 八郎
	34	6	個人	株式会社バーズ情報科学研究所	大岡 正明
新	35	7	個人	株式会社Core	大塚 裕章
	36	8	個人	株式会社ホロンシステムズ	大庭 尚
	37	9	個人	三井住友建設株式会社	大山 信一
	38	10	個人	B&Tコンサル・オフィス・オカダ	岡田 正志
	39	11	個人	アヴネット・イーエム・ホールディングス・ジャパン株式会社	岡本 嗣典
	40	12	個人	ワークプレイス・リサーチ・センタ	小田 毘古
新	41	13	個人	株式会社ディーネット	金川 博信
	42	14	個人	経営情報システム株式会社	菊池 楔夫
	43	15	個人	株式会社キャパ	吉良 平四郎
	44	16	個人	三菱電機株式会社	草場 信夫
	45	17	個人	ハンドリームネット株式会社	串田 昭治
	46	18	個人	株式会社Cx0パートナー	斎藤 嘉信
	47	19	個人	ディクサス コーポレーション	佐藤 雅則
	48	20	個人	株式会社ランドコンピュータ	佐原 剛
	49	21	個人	椎名公認会計事務所	椎名 清史
	50	22	個人	株式会社ファーコス	島田 光明
	51	23	個人	株式会社RURAKU	鈴木 洋二郎
	52	24	個人	株式会社シイエヌエス	関根 政英
新	53	25	個人	株式会社IMホスピタル	高橋 真紀夫
	54	26	個人	株式会社アテニューム	瀧澤 和男
新	55	27	個人	株式会社エムシー・スコープ	千葉 昌信
	56	28	個人	Loco共感編集部	坪田 知己
新	57	29	個人	株式会社エフアンドエスクリエイションズ	濱橋 謙
新	58	30	個人	ピースミール・テクノロジー株式会社	林 浩一

	59	31	個人	Running Mate	早速 誠一
	60	32	個人	株式会社チェンジ	福留 大士
	61	33	個人	株式会社アイルテクノロジー	松下 博幸
	62	34	個人	株式会社リベント	三上 力央
	63	35	個人	株式会社サリック	三原 和男
	64	36	個人	株式会社スキャる	宮田 幸治
新	65	37	個人	東京スター銀行	山口 公明
新	66	38	個人	ミツイワ株式会社	羅本 礼二
	67	39	個人	有限会社イニシアティブ・アンド・ソリューションズ	渡邊 信光
	68	40	学術	首都大学東京	坪本 裕之
	69	41	名誉	東京工業大学	飯島 淳一
	70	1	名誉	東洋学園大学	淵野 康一

第 36 回 BPIA 中間理事会 例会活動報告

例会担当 仙石通泰副会長
田村俊和理事

1. 今年度の活動報告

■第 1 回 12 月 17 日(木) 参加者：28 名

講師：田野倉 保雄 氏

日経 Robotics 編集長

講演概要：

現在、さまざまな分野でロボットの導入に向けた動きが活発化している。

2035 年には国内だけで 10 兆円規模の市場になるとの予測もあるほどだ。

これまで日本は産業用ロボットの世界市場で半数以上のシェアを誇る「ロボット大国」だったが、欧米や中国、韓国などにおいても政府や企業による技術開発や産業育成に向けた取り組みが今、加速している。

人工知能の活用も視野に入れつつ、ターゲットは産業用ロボットのみならず、今後成長が見込まれるドローンや、物流をはじめとするサービスロボット分野にまで拡大している。こうした状況を踏まえながら、日本を含む世界のロボット関連動向と今後の展望についてご紹介していただいた。

■第 2 回 2 月 18 日 (木) 参加者：27 名

講師：鈴置 高史 氏

日本経済新聞社編集委員

講演概要：

朴槿恵大統領が率いる韓国は外交政策を大きく転換し「離米従中」した。2015 年秋になって米国は韓国引き戻しに動き、オバマ大統領が朴槿恵大統領に直接「米中どちらの味方か」と正したほか「慰安婦」で日本との合意を呑ませた。

しかし、北朝鮮の 4 回目の核実験が状況を複雑にした。米国が韓国を納得させられるほどの解決策を示せば、韓国は「米国復帰」の方向に動くだろう。そうでなければ韓国は、北の核問題解決を求め、一気に中国側に走るか、あるいは自前の核を持つとせらるだろう。台湾も「失い」孤立感を深める中国はどう出るか。韓国を懐柔するか、恫喝するか、検討中と思われる。さらに状況を複雑にするのが中国発の金融危機だ。2015 年 12 月から韓国

証券市場は外人売りが続いている。資本逃避で通貨危機に陥る可能性が高まっている。
しかし韓国の通貨スワップは中国頼みだ。頭を下げ日本に結んで貰うか、怪しげな人民元スワップに頼り続けるのか、韓国は大陸側で生きるのか、海洋側に戻るのか、岐路に立っている。

韓国の動静を中心に米・中・日を交えた東アジア情勢の今後についてお話しいただいた。

■第3回 4月21日(木) 参加者：36名

講師：深津 航 氏

日本オラクル株式会社

講演概要：

IoT (Internet of Things) =モノのインターネットが世界を変えている。

工場、物流、決済などの BtoB 領域から、医療、自動車、洗濯機、冷蔵庫などの生活分野まで、あらゆるモノがセンサーを搭載し、インターネット経由で情報をやり取りする時代が始まっている。

最先端の活用事例を解説するとともに、IoT をベースにどのようにビジネスが進化していくのか、新たなサービスが生み出されていくのかを見通す。

また、これらを支えるセンサーやネットワーク、ロボットなど様々な技術の紹介、もたらされる経済効果も含めて IoT の全貌についてお話しいただいた。

2. 今後の予定

■第4回 8月25日(木) 8:00~9:30

【テーマ案】

①AI (人工知能)

②Fin Tech

第4回 BPIA新緑セミナースケジュール

2016年5月25日

月日	発着地	時刻	交通機関	摘要	朝昼夕		
2016年 6月11日 (土)	〈事務局推奨列車〉 東京駅発 - 那須塩原駅着 那須塩原駅発 - 那須ゴルフ倶楽部着	11:08	12:21	JR新幹線なすの257	所要時間：73分 料金5,390円（乗車券：2,590円 特別料金：2,800円）	朝 夕	
		12:30	13:10	倶楽部バス 又は タクシー	所要時間：40分		
		13:25			※ご宿泊の方はチェックインをお済ませの上会場へお越しください。 那須ゴルフ倶楽部 セミナー会場集合 *コーヒーポットを準備いたします 開会挨拶 ■伊藤常務理事 講演・討議 第1部（120分） ■倉重会長 ■テーマ-地政学-他 休憩（10分） *コーヒーポットを準備いたします 講演・討議 第2部（75分） ■坪田氏他 ■パネルディスカッション 閉会挨拶 ■椎木事務局長 ※セミナー終了後に各自チェックインされたお部屋へお願いします。		
		13:30	13:35				
		13:35	15:35				
		15:35	15:45				
		15:45	17:00				
		17:00	17:05				
		18:00	20:00		懇親会 ※二次会は各自お楽しみ下さい ※20:00～はラウンジ利用となります 宿泊：那須ゴルフ倶楽部		
					××○		
6月12日 (日)	ゴルフ 那須ゴルフ倶楽部 - 那須塩原駅着	6:50			※各自朝食は自由となります ■朝食時間：6:50～ ■朝食料金：1,080円（和・洋定食）	朝 夕	
		7:30	12:00	OUTスタート4組(予定)	那須ゴルフ倶楽部 ゴルフコース		
		12:30	14:00		昼食&パーティー		
	14:10	14:50	倶楽部バス 又は タクシー	所要時間：40分			
					○○×		
	〈事務局推奨列車〉 那須塩原駅発 - 東京駅着	15:02	16:16	JR新幹線やまびこ214号	所要時間：1時間14分 料金5,390円（乗車券：2,590円 特別料金：2,800円）		
		那須ゴルフ倶楽部 - 那須塩原駅着	7:00	7:40	倶楽部バス 又は タクシー		所要時間：40分 ※朝食をとられない方は、こちらの倶楽部バス利用も可能です
			7:50	8:30			
			8:50	9:30			
		〈事務局推奨列車〉 那須塩原駅発 - 東京駅着	7:53	9:04	JR新幹線やまびこ206号		所用時間：1時間11分
8:47			10:00	JR新幹線やまびこ208号	所用時間：1時間13分		
9:53			11:08	JR新幹線なすの270号	所用時間：1時間15分 料金5,390円（乗車券：2,590円 特別料金：2,800円）		
				○○×			

【食事記号】 ○/ 食事付、 ×/ 手配無し

※往復の新幹線の手配は各自にてお願いいたします。

※日程発着時間等、上記の記載事項は諸般の事情により変更になる場合もございます。予めご了承下さい。

※新緑セミナーのスケジュールに合わせて事務局推奨列車を設定しておりますが、それ以外をご利用戴くことも可能です。

※事務局推奨列車をご利用戴きますと、ゴルフ倶楽部バスによる送迎がご利用戴けます。

※新緑セミナーは、現地集合、現地解散を基本とします。

第4回 BPIA 新緑セミナー 実施概要

1. 日程

2016年6月11日（土）－ 6月12日（日） 1泊2日

2. 会場

那須ゴルフ倶楽部

【施設詳細】

〒325-0301 栃木県那須郡那須町大字湯本 212

TEL : 0287-76-3100

FAX : 0287-76-3103

<http://nasugolf.jp/#/index/top>

【アクセス】

- ・新幹線／東北新幹線那須塩原駅、クラブバスにて40分
- ・車／東北自動車道 那須ICより湯本方面～東野バス那須営業所角（正面に温泉神社鳥居）を左折（那須ICより15分）

3. 対象

BPIA 会員、会員ご紹介者様

4. スケジュール

別紙参照

5. 集合場所及び時間

- ・集合場所 : 那須ゴルフ倶楽部 セミナー会場
- ・集合時間 : 6月11日（土）13時25分までにお集まりください。（セミナー開始 13:30～）
※ご宿泊される方はチェックインのみ済ませ、お部屋へはセミナー終了後をお願いします。

6. 那須塩原駅から送迎バスのご案内

- ・乗車日時 : 2016年6月11日（土）12時30分
※出発時刻に間に合わない場合は、下記携帯電話までご連絡ください。
事務局担当／川上 070-6510-7841 交流会担当／伊藤 080-9369-9719
- ・乗車場所 : 那須塩原駅西口を出て正面ロータリー左側「那須ゴルフ倶楽部」発着所

7. 参加費

12,000 円

セミナー費、夕食費、懇親会費、付随費用含む。

※1 その他下記費用につきましては、各自必要に応じてお支払となります。

- ・交通費 …東京駅～那須塩原駅 片道 5,390 円
- ・宿泊費 …5,550 円 (入湯税 150 円含む)
*部屋は 1 名 1 室利用
- ・朝食費 …1,080 円

※2 2 日目にゴルフをされる方は下記費用が必要となります。

- ・ゴルフプレー費 …26,910 円
*キャディ付、4 バック、歩き (3 バックの場合+320 円)
*乗用カート利用の場合、1 人当たり+2,160 円
- ・昼食・パーティ費 …約 3,000 円

第 36 回 BPIA 理事会 委員会活動報告

委員会名 広報委員会

担当者 石田麻琴

1. 今年度の活動報告

BPIA イベント、会員コラムの掲載活動をおこなってきた。掲載活動は以下のとおり。

2015/9/29 BPIA 夕月の会レポート

2015/10/5 会員コラム第 1 回：MIRAIMA（株式会社三技協）

2015/10/20 会員コラム第 2 回：日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社

2015/11/6 企業活性化研究会：国立女性教育会館訪問レポート

2015/11/12 会員コラム第 3 回：株式会社パシフィックネット

2015/12/15 会員コラム第 4 回：株式会社 E C マーケティング人財育成

2015/2/15 企業活性化研究会：大塚ホールディングス徳島地区訪問レポート

2015/3/16 WEB ビジネス研究会：第 1 回開催レポート

2016/4/7 第 1 回 BPIA 理事交流会レポート

2016/4/15 WEB ビジネス研究会：第 2 回開催レポート

ホームページへの情報掲載、facebook への投稿は飯塚さんが積極的に進めてくれている。

2. 今後の活動計画・課題及び討議事項

会員コラム、例会・交流会のレポート等、石田が忙しくなる（もしくは参加ができない）と止まってしまうことになり、広報委員会の機能上、あまり宜しくない状況になっている。

状況を少しずつ改善していくための方法として、

①広報委員会の会合を設定

まずは年に 2 回ほど、広報委員と数名のメンバーで状況の共有、今後の進め方を話し合う会合を設定し、広報活動を動かすリズムをつくっていく。

②広報委員会メンバーの募集

主にレポート依頼、レポート執筆がメインの仕事になるが、広報委員会を共におこなってもらえるメンバーを募る。定期的に会合をおこない、活動内容・活動計画を作成。

この 2 つの方法を考えている。理事の皆様のお知恵をいただきながら、良い進め方を検討していきたい。

BPIA2016年度中間会計（前期 2015年10月1日～2016年3月31日）

単位：円

	年間予算	上期実績	残予算	下期予定	年間予定	予実差異
1. 会費収入	7,000,000	6,977,000	-23,000	190,000	7,167,000	167,000
既存	6,650,000	6,372,000	-278,000	190,000	6,562,000	-88,000
新規	350,000	605,000	255,000	0	605,000	255,000
2. 運営費用	5,250,000	2,843,426	2,406,574	2,570,000	5,413,426	-163,426
総会、理事会	300,000	178,366	121,634	80,000	258,366	41,634
事務委託費	4,350,000	2,400,000	1,950,000	2,400,000	4,800,000	-450,000
広報費用	200,000	148,580	51,420	0	148,580	51,420
旅費交通費	150,000	19,829	130,171	40,000	59,829	90,171
その他	250,000	96,651	153,349	50,000	146,651	103,349
3. 事業活動原資(会費収入-運営費用)	1,750,000	4,133,574	2,383,574	-2,380,000	1,753,574	3,574
4. 例会・研究会等事業収支	-1,250,000	-402,296	847,704	-370,000	-772,296	477,704
例会	0	-41,635	41,635	30,000	-11,635	-11,635
収入	300,000	159,000	141,000	180,000	339,000	39,000
支出	300,000	200,635	99,365	150,000	350,635	-50,635
研究会	-250,000	-108,406	-141,594	-90,000	-198,406	51,594
収入	150,000	56,500	93,500	150,000	206,500	56,500
支出	400,000	164,906	235,094	240,000	404,906	-4,906
会員交流	-100,000	-52,635	-47,365	-50,000	-102,635	-2,635
収入	900,000	444,000	456,000	600,000	1,044,000	144,000
支出	1,000,000	496,635	503,365	650,000	1,146,635	-146,635
総会理事会懇親会	-400,000	-199,620	-200,380	-100,000	-299,620	100,380
収入	200,000	190,000	10,000	0	190,000	-10,000
支出	600,000	389,620	210,380	100,000	489,620	110,380
事業活動予備費	-500,000	0	-500,000	-160,000	-160,000	340,000
収入	0	0	0	240,000	240,000	240,000
支出	500,000	0	500,000	400,000	400,000	100,000
5. その他収支	0	395	395	0	395	395
受取利息、雑収入	0	395	395	0	395	395
6. 当期収支	500,000	3,731,673	3,231,673	-2,750,000	981,673	481,673

第 36 回 BPIA 理事会 研究会活動報告

研究会名: 目からウロコの新ビジネスモデル研究会

ナビゲータ: (片貝 孝夫)、岩佐 豊、下條 治、井ノ上 美和

1. 今年度の活動報告

【研究会実施報告】

第 93 回 10/27(火) (35 名参加)

NPO 法人夢さがしプロジェクト代表 菅原 亜樹子氏

『子供が夢を持つために大人ができること

知って、試して、自分の道を見つける体験型のキャリア教育

～一足先に道を選んだ 100 人からのメッセージ～』

第 94 回 11/24(火) (30 名参加)

味の素株式会社 食品事業本部 高橋 裕典氏

『農業にイノベーションを！『九州力作野菜』プロジェクト

～発酵副生バイオマスの再資源化の取り組みによる農業バリューチェーンの構築～』

第 95 回 1/26(火) (14 名参加)

ハンドリームネット株式会社 代表取締役社長 朴 明浩氏

『こうして内部情報は漏えいする！知らないと怖い、最新ウイルスとセキュリティー対策

～実際の攻撃を実演し攻撃者の観点から対策を考える～』

第 96 回 2/23(火) (32 名参加)

株式会社アスカプランニング 代表取締役 永谷 裕子氏

『このままでは日本企業だけが取り残される～グローバル環境での IT プロジェクトマネジメントとは～』

第 97 回 3/29(火) (14 名参加)

A-Girl Creative/農と食女性協会 代表 伊藤 淳子氏

『農業女子的田舎暮らしのハウツー』

第 98 回 4/26(火) (35 名参加)

コミー株式会社 代表取締役社長 小宮山 栄氏

『物語を創る会社ーコミー独自経営の心』

2. 今後の活動計画

【研究会の予定】

第 99 回 5/24(火)

新宿内藤とうがらしプロジェクト リーダー 成田重行氏

『400 年前、江戸内藤新宿。蘇ったとうがらし物語-

わずか 7 粒から、200 以上の企業・飲食店を巻き込む大イベントへの仕掛け』

第 100 回 6/7(火)

相田みつを美術館 館長 相田 一人氏

『父 相田みつをと私の美術館経営 20 年』

第 101 回 2016 年 7/26(火) 調整中

第 102 回 2016 年 8/30(火) 調整中

第 103 回 2016 年 9/27(火) 調整中

【ナビゲーターの交代】

片貝さんの後任として、日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社の下條社長にナビゲーターを依頼。

同社 IT Improvement 室 室長の合田さんが、アシスタントとして講師への講演依頼などの実務を担当。

BPIA 公式サイト、FB 等の記載は更新済。

3. 課題及び討議事項

【新規会員獲得】

- ・ BPIA の活動を 1 枚チラシで作成し、研究会の際に新しく来てくれた人に配布する。これまでの研究活動を写真入りで紹介し、社外の人とのコミュニケーションの重要性やビジネスへの貢献を伝える。
→ 未着手だったので、新ナビゲーターの紹介を含め、夏をメドに作成。

第 36 回 BPIA 理事会 研究会活動報告

研究会名 WEB ビジネス研究会ナビゲータ 石田麻琴

1. 今年度の活動報告

2016 年の WEB ビジネス研究会は 3 月 10 日よりスタートした。今回第五期の研究会は BPIA 法人会員である日本コンピュータ・ダイナミクスさんの自転車メディアサイト「LIFE-B」の運用改善をモデルケースとして挙げ、全四回の研究会を進めている。(5 月 25 日時点では三回目までが終了)

参加メンバーは前回第四期も参加いただいた三枝協さん、アーク情報システムさん、リコー IT ソリューションズさん、サリックさんと、第五期からの新規メンバー、合わせて 15 名程。当初想定していたよりも多目の人数で展開することができている。

テーマは第四期と同じ「WEB サイトの運用改善」について。第四期では理論的な話を中心だったが、第五期は実際に現在運用改善されている WEB サイトの「運用改善の内容と、結果としてのデータ」を研究会で議論できるようにした。リアルタイムで動いているモデルケースのため、メンバーの興味も強いようだ。

2. 今後の活動計画

第五期の WEB ビジネス研究会は 6 月 16 日の第四回を持って終了。以降は次期に向けての検討に入る。現在、第六期の WEB ビジネス研究会のテーマとして考えているのが「オウンドメディア」「コンテンツマーケティング」といったもの。

WEB サイトをメディア化することで、情報発信力を高めていくにはどうすればいいかをいくつかの切り口から議論していきたい。WEB マーケティングの概念とデータ分析を得意とする人、文章を書くことを得意とする人、情報を編集することができる人、そしてモデルケースと合わせた研究会ができると面白いのではないかと考えている。

第五期の成果も含め、夏～秋で第六期の内容を検討していきたい。

3. 課題及び討議事項

ナビゲータ石田の性質上、どうしてもマーケティングの原理原則的な目線の研究会となってしまう。SEO 対策やクラウドファンディング、ソーシャルメディア活用等、トレンド系の内容について期待していた参加メンバーもいるとは思うが、私自身もあまり詳しくないのでお伝えできなくて残念。

自分が知っていること、理解していることを伝えるのではなく、今回のモデルケースパターン含め、ナビゲータが全面に出ない研究会のスタイルを模索していきたい。

第 36 回 BPIA 理事会 研究会活動報告

研究会名 企業活性化研究会

ナビゲータ 岡田 正志

1. 今年度の活動報告

今期の前半においては、前期に引き続き“働き方改革による企業と地方の活性化”をテーマとし、「日本のどこでも同じような企業活動ができるビジネスプラットフォームとは何か」を、“地方での起業（新規事業創出）、地方企業の活性化、地方創生、BCP対策、社員教育、働きやすい環境”等の事例に基づいて検討してきました。そこでは、以下のような施策について議論いたしました。

- ① ICT環境の構築、業務プロセスと働き方の革新、働き方の選択肢の充実、
- ② 地方に拠点をもつことが有利で必然性のあるビジネス展開
- ③ 若中高の全世代が長く生活できるバランスのよい地方都市と生活空間の実現
- ④ 自治体の創意工夫と積極的な関与

そして、地方の活性化に貢献している企業のひとつである大塚製薬の本拠地である徳島を訪問いたしました。大塚製薬の事業内容や地域貢献を含め、訪問の状況については、BPIAのホームページに掲載いたしました。

今年のはじめからは、企業活性化と地域活性化の原点はイノベーションにあるとの考えのもと、“イノベーションと地方創生”をテーマに事例研究を中心に検討を進めています。

地域経済を発展させる企業の成功要因としては以下が考えられ、イノベーションによってこれらが実現された事例を検討しています。

- ① 企業活動を長期にわたって持続可能とする継続性
- ② 外部環境に大きく影響されない企業体質（下請けからの脱却等）
- ③ 容易にまねをされない技術やビジネスモデルの確立と防御
- ④ 概念の転換（例：他分野技術の導入、設備の自社開発、技術転用、物からサービスへの転換）
- ⑤ 情報への敏感性、先見性、社会の変化の先取り、試行錯誤
- ⑥ ブランド化の推進、伝統の継承、地方から海外への展開
- ⑦ 失敗の分析と克服、失敗の許容

話題となった企業としては、中村超硬（大阪府堺市、電子材料のスライス加工用ダイヤモンドワイヤ開発&加工受託、昨年マザーズ上場）、鍋屋バイテック（岐阜県関市、プーリーや特殊ねじなどの要素部品の開発製造販売、故岡本社長当時に研究会で訪問済み）、エイチーム（岐阜県土岐市の個人事業から発展、名古屋本社、ソフト受託開発）、その他に、清川屋（鶴岡）、アイリスオーヤマ（仙台）、イートラスト（長岡&台東区）、カヤック（鎌倉市）、未来工業（岐阜県安八郡、故山田相談役当時に研究会で訪問済み）などがあります。

2. 今後の活動計画

事例研究として、ガイアの夜明け、カンブリア宮殿、未来世紀ジパング（テレビ東京）、がっちりマンデー（TBS）、所さんの目がテン(日テレ)などのこれまでの放送から、地域企業のイノベーションにかかわるものをピックアップし、内容（企業）ごとに、イノベーションの要因を明確にし、整理します。（たとえば、4月12日、19日放送の“負けない町工場の法則”のひとつに、高級な紙皿や紙コップを食器として使う例では、使い捨てが安いという概念の打ち砕きと製品のブランド化、地道な海外レストランへの売り込み、経営者の意気込みなどがイノベーションの原点&成功要因となっています。）

ここでの検討のポイントとしては、上記①～⑦に加え、以下を議論します。

- ⑧イノベーションを起こせる経営者をどう発掘し育てていくか、どうサポートするか、次世代にどう伝えるか
- ⑨イノベーションの起こる仕組み&起こせる仕組み（含：おもい、行動、発想）
- ⑩社員の立場でのイノベーション、働き方のイノベーション（経営者のおもいを社員にどう伝えるか、自立的働き方の促進など）

最終的には、イノベーションと地方創生の要因図を作成できればと思っています。また、検討事例のなかから1社を選んで、企業訪問を実施したいと思います。

3. 課題及び討議事項

- ①特定の企業、大学や自治体等とタイアップした、より具体的な検討
- ②実践的な施策への結び付け（議論&検討結果等のアピール、反映）
- ③研究会メンバの増強

第 36 回 BPIA 理事会 研究会活動報告

研究会名:「Think! CSV 経営」～ CSV(Creating Shared Value)経営を考える～
ナビゲータ:Initiative & Solutions,Inc 渡邊信光

1. 今年度の活動報告

■ 内容

「社会的課題の解決」と「組織としての収益の維持・向上」の両立を目指す CSV(Creating Shared Value)経営。
この CSV 経営について、下記 2 つのケースを活用し、研究会を実施した。

※基本論文として、HBR 誌 2011.6 月号掲載論文「共通価値の戦略」M・E・ポーター他著 を配布した。

① 「インド・アラヴィンド眼科病院」(ハーバード・ビジネススクール・ケース)

(ケースサマリー)わずか 20 床の病院としてスタートしたアラヴィント眼科病院は、1992 年には 1400 床の総合病院へと成長した。それまでに、アラヴィンド病院グループは 365 万人の患者を検査し、約 33 万 5000 件の白内障手術を行っていた。その 70%近くは、インドの失明者人口の中でも最貧層に無料で提供されていた。現在 74 歳になるアラヴィントの創始者、ヴェンカタスワミ医師は、インド、アジア、アフリカの隅々までアラヴィンド・モデルを広めることを目標としていた。このケースではそのような実行計画の展開の一段階を提供している。

② 「グラミン・ダノンフーズ」(慶應ビジネススクールケース)

(ケースサマリー)2006 年、世界的食品会社であるダノンとマイクロファイナンスで知られるグラミン銀行は、貧困層の児童の栄養不良を解消しつつ、事業継続に必要な利益をあげることを目的としてグラミンダノン社を設立した。同社の経営上の課題をいかに解消するかと共に企業が経済的価値と社会的価値の両立を目指すことの意味を考えるケース。

■ 参加者人数

第 1 回(12/12) 23 名

第 2 回(01/29) 15 名

第 3 回(02/19) 17 名

第 4 回(03/04) 17 名

《コメント》

CSV 経営は、ソーシャルビジネスや新興国マーケティングを展開する際には欠かせない新しい経営概念である。参加者の中には、初めて触れる方も多く、CSV 経営として有名な 2 つのケースを通じて知見を高められたと思う。

※研究会会場を提供頂いた、BPIA 理事/イトーキ 森本俊彦様には感謝申し上げます。

2. 今後の活動計画

来期研究会テーマ:

『Think! デザイン思考、その再考』

2010年頃、イノベーション創造のメソッドとして、日本に紹介された「デザイン思考」。3年前の研究会でもこれをテーマに行いました。

「イノベーションを生み出す」は、我々にとってますます求められるテーマです。

昨年、スタンフォード大学工学部教授 Tina Seelig が、デザイン思考と絡めながらイノベーションの起こし方を、その著「Insight Out」で表しています。また、米 HBR 誌 2015.9 月号でも「デザイン思考の進化」として特集されています。



今回、会員向けに、デザイン思考に纏わる知見やケースを材料に、『Think! デザイン思考、その再考』をテーマとして研究会を行いたいと考えています。

□実施回:7回、毎回2時間30分程度

以上

第 36 回 BPIA 理事会 講演会活動報告

講演会名 経営サロン～隠し事が出来ない時代の経営～

講師 明豊ファシリティワークス株式会社 代表取締役社長 坂田 明

1. 今年度の活動報告

2016/2/8 (火) 18 時より、明豊ファシリティワークス株式会社本社会議室にて、会員 21 名が参加された中で第 1 回目経営サロンを開催した。

明豊ファシリティワークスの会社概要、プロジェクト実績を説明後、コンストラクション・マネジメント (CM) ビジネスの沿革、会社の進化を支えるシステム開発方針を説明した。当社が建設プロジェクトで工事請負からフィービジネスへ転換する上で行った各種取り組みを紹介し、情報の可視化とテレワークを支える仕組みを具体的に説明した。その後、CM企業の社会的役割と、CM企業で働く人の条件、そして、お客様との信頼関係構築へのこだわりについて触れ、社内規律、「社員の納得性」を目標とする人事制度への挑戦とPMカレッジ、当社の成長戦略等を説明した。

2016/4/13 (水) 18 時より、同じ会議室にて、会員 18 名が参加された中で第 2 回経営サロンを開催した。

「フィービジネスへの転換を図って以来 1 1 年間に亘る見える化への挑戦と成果」を主題として、ホワイトカラーの生産性定量化への挑戦、それを支える「マンアワー管理の仕組み」と管理会計の精度向上について説明した。又、データベースに蓄積した行動分析データを人材活用につなげている事例を説明し、成長戦略につなげるテレワークや情報活用を支えるインフラの概要を参考として説明した。

2. 今後の活動計画

2016/7/12 (火) 18 時より、同じ会議室にて、最終回となる第 3 回経営サロンを開催する。

「D i g i t a l の有効活用及び信頼関係構築」を主題として掲げ、その実現の為に当社が取り組んできた「社内システム内製化への取り組み」を説明の後、顧客、社員、社会との信頼関係を構築する上で取り組んできた制度設計その他各種施策について、受講者と議論したいと考えている。

2016/5/25

第36回 BPIA 中間理事会 交流会活動報告

交流会担当 伊藤孝常務理事
森川勇治理事

1. 活動報告

■新年賀詞交換会 参加者 76名

日程：2016年1月13日（水）18:00～20:30

場所：目黒雅叙園（目黒）

内容：立食パーティー、井ノ上様講演及びプレゼント抽選会

収入：444,000円、支出：496,635円、差引：-52,635円

■第1回理事交流会 参加者 18名

日程：2016年4月6日（水）8:00～10:00

場所：アークヒルズクラブ（六本木一丁目）

内容：朝食会、理事メンバー同士の意見交換や議論等

収入：114,000円、支出：157,151円、差引：-43,151円

2. 今後の予定

■第4回新緑セミナー

日程：6月11日（土）～12日（日）

場所：那須ゴルフ倶楽部（那須高原）

プログラム：

◎6月11日（土）

13:35～15:35 第1部 倉重会長講演

15:45～17:00 第2部 パネルディスカッション

18:00～ 懇親会

◎6月12日（日）

【ゴルフ組】

7:30 OUT スタート4組

12:30～14:00 昼食&パーティー

※ゴルフ組以外は自由解散

参加費：12,000 円

※セミナー参加費、夕食費、懇親会費、付随費用含む。

※現地までの交通費、宿泊費、朝食費は含まれません。

■第2回理事交流会

日程：2016年7月22日（金）8:00～10:00

場所：アークヒルズクラブ（六本木一丁目）

内容：朝食会、理事メンバー同士の意見交換及び議論等

■納涼会

日程：2016年8月5日（金）18:00～20:30

内容：貸切屋形船クルーズ *場所は調整中

参加費：10,800 円 *予定